

校内科目名	学習指導要領の科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
コミュニケーション英語 I	コミュニケーション英語 I	1	A B C D E F	3	必履修	105 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	渡邊、加藤、渡辺
授業形態	講義、演習、発表等
教科書	Perspective English Communication I NEW EDITION(183第一 コ I 350)(第一学習社)
使用教材等	Perspective English Communication I NEW EDITION Workbook(第一学習社) Focus on Listening Elementary(エミル出版) リスニングの基礎を固める(数研出版) 新ユメタンO(アルク)

科目の目標・内容等

学習目標	学んだ表現を用いて積極的に他者とコミュニケーションをとり、自己表現をする中で、他者の考えを理解し、自らの考えを深化させ、人間関係を築いていくことのできる力を身に付ける。
学習における留意点	予習→授業→復習の繰り返しの中で、語彙、文法、読解力の習得にとどまらず、題材を精読し、思考力、判断力、表現力を身につけるために主体的、能動的に学習に取り組む。
予習・復習	予習では、語彙や文法事項を確認した上で内容を理解し疑問点を把握し授業に備える。復習では、知識の定着を図ると共に、学習内容について理解と考察を深める。
評価方法	定期考査、単語テスト、リスニングテスト、課題の提出、学習に取り組む姿勢等から総合的に評価する。

年間授業計画

学期	単元・授業内容	学習の重点	評価の観点
1	Lesson 1 Flowers Across the Ocean Lesson 2 We Can All Make a Difference Lesson 3 Washoku Lesson 4 "A Piece of Cloth"	(1) 題材内容のスキーマ活性化。 (2) 各パート全体の内容に対する英問英答と新出単語、重要表現の理解と暗記。 (3) 本文内容のまとめと本文内容に関する自己表現活動。 (4) 言語材料のまとめと練習問題への取り組み。 (5) 重要表現と文法事項に対する練習問題	(1) 知識、技能(主題に対する背景知識、問題意識) (2) 言語能力(語彙力、文法理解、読解力) (3) 思考力、判断力、表現力 (4) 言語能力(語彙力、文法理解、読解力と応用力) (5) 言語能力(文法・語法力、読解力と応用力)
2	Lesson 5 Malala Continues to Speak Out Lesson 6 Stonehenge Lesson 7 One Team, One Country Lesson 8 To Protect or To Develop	(1) 題材内容のスキーマ活性化。 (2) 各パート全体の内容に対する英問英答と新出単語、重要表現の理解と暗記。 (3) 本文内容のまとめと本文内容に関する自己表現活動。 (4) 言語材料のまとめと練習問題への取り組み。 (5) 重要表現と文法事項に対する練習問題	(1) 知識、技能(主題に対する背景知識、問題意識) (2) 言語能力(語彙力、文法理解、読解力) (3) 思考力、判断力、表現力 (4) 言語能力(語彙力、文法理解、読解力と応用力) (5) 言語能力(文法・語法力、読解力と応用力)
3	Lesson 9 Life in a Jar Reading Skill 1 指示表現 Reading Skill 2 連結表現① Reading Skill 3 連結表現② Reading Skill 4 主題文と指示文 Reading Skill 5 物語の読み方	(1) 題材内容のスキーマ活性化。 (2) 各パート全体の内容に対する英問英答と新出単語、重要表現の理解と暗記。 (3) 本文内容のまとめと本文内容に関する自己表現活動。 (4) 言語材料のまとめと練習問題への取り組み。 (5) 重要表現と文法事項に対する練習問題	(1) 知識、技能(主題に対する背景知識、問題意識) (2) 言語能力(語彙力、文法理解、読解力) (3) 思考力、判断力、表現力 (4) 言語能力(語彙力、文法理解、読解力と応用力) (5) 言語能力(文法・語法力、読解力と応用力)

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。

令和3年度 外国語 科
教科名等

校内科目名	学習指導要領の科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
英語表現 I	英語表現 I	1	A B C D E F	2	必履修	70 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	相原宏明 金子栄 松本麻子 渡邊敬影
授業形態	講義 演習
教科書	Vision Quest English Expression I Standard (Revised)
使用教材等	Vision Quest English Expression I Standard ワークブック Vision Quest 総合英語 Vision Quest 総合英語 別冊 基本例文集

科目の目標・内容等

学習目標	基本的な文法力及び表現力を育成する。
学習における留意点	基礎的文法知識を習得し、表現するための道具として使えるようにする。
予習・復習	教科書の例文をノートに写し、説明を受けたのち練習問題・ワークブックで復習する。
評価方法	定期考査・小テスト・平常点などで総合的に評価する。

年間授業計画

学期	単元・授業内容	学習の重点	評価の観点
1	Lesson 1 文の種類 Lesson 2 文型と動詞①② Lesson 3 時制① Lesson 4 完了形①② Lesson 5 助動詞①②③	文の種類、文型と動詞、時制、完了形、助動詞について基本的な文法事項を理解し身につける。Use it を使い、3行の英作文を書いていく。	学習した文法事項を理解し身につけている。学習した表現を使って文章を書くことができる。英作文の際には自分の表現したいことにふさわしい表現を選んで使っているかも観点に入れ評価する。例文暗記テストへの取り組み、ワークブック等を使い計画的に復習しているか、提出物の提出及び完成度も見る。
2	Lesson 6 受動態① Lesson 7 不定詞③ Lesson 8 動名詞①② Lesson 9 分詞①②	受動態、不定詞、動名詞、分詞、関係詞について基本的な文法事項を理解し身につける。また学習した文法事項を使用し、身近な話題についてまとまった文章を書く。	学習した文法事項を理解し身につけている。学習した表現を使って文章を書くことができる。英作文の際には自分の表現したいことにふさわしい表現を選んで使っているかも観点に入れ評価する。例文暗記テストへの取り組み、ワークブック等を使い計画的に復習しているか、提出物の提出及び完成度も見る。
3	Lesson10 関係詞①② Lesson10 関係詞③ Lesson11 比較①②	関係詞・比較について基本的な文法事項を理解し身につける。また学習した文法事項を使用し、文章構成を考え、自己の考えを論理的に展開し伝える文章を書く。	学習した文法事項を理解し身につけている。学習した表現を使って文章を書くことができる。英作文の際には自分の表現したいことにふさわしい表現を選んで使っているかも観点に入れ評価する。例文暗記テストへの取り組み、ワークブック等を使い計画的に復習しているか、提出物の提出及び完成度も見る。

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。

校内科目名	学習指導要領の科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
コミュニケーション英語Ⅱ	コミュニケーション英語Ⅱ	2	A B C D E F	4	必履修	140 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	金子 栄 遠藤 浩司 加藤 聡生
授業形態	講義、演習、発表等
教科書	PRO-VISION English Communication II NEW EDITION(212桐原 コⅡ353)(桐原書店)
使用教材等	PRO-VISION English Communication II NEW EDITION Workbook(桐原書店) 英語速読演習 Mileage Reader ④ NEW EDITION(いづな書店) Focus on Listening Standard(エミル出版) 英語長文演習シリーズ Swith 1 NEW EDITION(文英堂) 新ユメタン1(アルク)

科目の目標・内容等

学習目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。
学習における留意点	予習→授業→復習の繰り返しの中で、語彙、文法、読解力の習得にとどまらず、題材を精読し、思考力、判断力、表現力を身につけるために主体的、能動的に学習に取り組む。
予習・復習	予習では、語彙や文法事項を確認した上で内容を理解し疑問点を把握し授業に備える。復習では、知識の定着を図ると共に、学習内容について理解と考察を深める。
評価方法	定期考査、小テスト、課題の提出、学習に取り組む姿勢等から総合的に評価する。

年間授業計画

学期	単元・授業内容	学習の重点	評価の観点
1	Lesson 1 The Freedom to Be Yourself (題材:生き方 形式:エッセイ) Lesson 2 Are You Really a Sloth?(題材:動物 形式:説明文) Lesson 3 Mount Fuji - The Eternal Mountain(題材:日本文化 形式:説明文) Lesson 4 Handwriting in the Digital Age(題材:社会 形式:論説文)	(1) 設定された到達度に応じた言語運用能力の確認。 第1学年の既習事項についての習熟度の確認と補完演習。 (2) 授業を通じての英文の正確な読解、題材に含まれる情報の把握。 ペアワークやグループワークを通じての主題の理解や提起されている問題点の相互確認。 (3) 発信に至る過程で必要となる態度の醸成。速読と精読による読解力の育成。	(1) 言語能力(語彙力、文法理解、読解力) (2) 知識、技能(主題に対する背景知識、問題意識) (3) 思考力、判断力、表現力
2	Lesson 5 Designed to Change the World(題材:デザイン 形式:説明文) Lesson 6 The First Olympics(題材:歴史 形式:説明文) Lesson 7 The Dark, Mysterious Universe Deep under the Ocean(題材:自然科学 形式:説明文) Lesson 8 The Story of the Teddy Bear(題材:ものづくり 形式:説明文)	(1) 設定された到達度に応じた言語運用能力の習熟。 既習の語彙及び文法事項を運用し、言い換え表現や要約の要点についての理解。 (2) 授業を通じての英文の正確な読解、題材に含まれる情報の把握。 主題の理解や提起されている問題点について自分の言葉でまとめること。 (3) 発信に至る過程で必要となる態度の醸成。精読を経て英文の要点を把握し要約すること。	(1) 言語能力(語彙力、文法理解、読解力) (2) 知識、技能(主題に対する背景知識、問題意識) (3) 思考力、判断力、表現力
3	Lesson 9 Laughter is the Best Medicine(題材:心理学 形式:説明文) Lesson 10 The Underground Reporters(題材:戦争 形式:物語文)	(1) 設定された到達度に応じた言語運用能力の習熟。 英文による要約につなげるための語彙や文法事項の基礎・基本の反復演習。 (2) 授業を通じての英文の正確な読解、題材に含まれる情報の把握。 自らの考えを、適切な形式で英文にまとめること。 (3) 発信に至る過程で必要となる態度の醸成。主題に対する互いの考えの相互理解。	(1) 言語能力(語彙力、文法理解、読解力) (2) 知識、技能(主題に対する背景知識、問題意識) (3) 思考力、判断力、表現力

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。

校内科目名	学習指導要領の科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
英語表現Ⅱ	英語表現Ⅱ	2	A B C D E F	2	必履修	70 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	金子 栄 平松るみ子 松本麻子
授業形態	講義、演習等
教科書	Vision Quest English Expression II Ace(61啓林館 英Ⅱ322)(啓林館)
使用教材等	Vision Quest English Expression II Ace NEW WORKBOOK (啓林館) Vision Quest 総合英語 (啓林館) スクランブル英文法・語法 4th Edition(旺文社)

科目の目標・内容等

学習目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を伸ばす。
学習における留意点	英語の音声的な特徴や内容の展開等に注意しながら話し、論点や根拠等を明確にすると共に表現の工夫等を考えながら書く。相手の立場や考えを尊重する。
予習・復習	予習ではCDを聞き、全体を読み内容を把握する。レッスンごとの英文と日本語訳をノートに書き授業で確認。宿題として、ワークブックの問題や作文の課題に取り組む。
評価方法	定期考査、小テスト、課題や授業に対する取り組み状況等から総合的に評価する。

年間授業計画

学期	単元・授業内容	学習の重点	評価の観点
1	Lesson 1 お花見 Lesson 2 漫画の楽しみ Grammar Focus 1 Lesson 3 京都へ観光に Lesson 4 私の家族です Lesson 5 保育園での職業体験 Lesson 6 サプライズパーティー Lesson 7 映画のお誘い Grammar Focus 2 Lesson 8 航空管制官になる	<ul style="list-style-type: none"> 主語の決定/見えない主語の発見/主語のit 名詞句/形式主語/無生物主語 名詞と冠詞 SVO/SVOO 自動詞と他動詞/群動詞 SVC/SVOC 使役動詞/知覚動詞 直接話法と間接話法 主語と動詞の呼応/時制の一致 「～する」/「～している」 	<p>(1)コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行いコミュニケーションを図ろうとする。</p> <p>(2)事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語で伝えている。</p> <p>(3)英語を聞いたり英文を読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。</p> <p>(4)英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。</p>
2	Lesson 9 趣味はピアノ Lesson 10 「タイタニック」を見て Lesson 11 世界遺産の魅力 Lesson 12 ボランティア活動 Grammar Focus 3 Lesson 13 制服に賛成？反対？ Lesson 14 ローマの魅力 Lesson 15 思い出の写真 Lesson 16 科学技術の利用 Lesson 17 携帯は便利だけど…	<ul style="list-style-type: none"> 「～した」/「～していた」 能動態/受動態 仮定法 助動詞 英語の情報構造 数量を表す語句/前置修飾 後置修飾 関係代名詞/関係副詞 副詞/副詞句 副詞節①② 	<p>(1)コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行いコミュニケーションを図ろうとする。</p> <p>(2)事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語で伝えている。</p> <p>(3)英語を聞いたり英文を読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。</p> <p>(4)英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。</p>
3	Grammar Focus 4 Lesson 18 犬派？猫派？ Lesson 19 思い出深いプレゼント Lesson 20 インターネットの問題点 Grammar Focus 5	<ul style="list-style-type: none"> 前置詞 原級/比較級 最上級/最上級を意味する表現 no/部分否定/準否定 丁寧表現 	<p>(1)コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行いコミュニケーションを図ろうとする。</p> <p>(2)事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語で伝えている。</p> <p>(3)英語を聞いたり英文を読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。</p> <p>(4)英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。</p>

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。

校内科目名	学習指導要領の科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
コミュニケーション英語Ⅲ	コミュニケーション英語Ⅲ	3	A B C D E F	4	必履修	140 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	平松るみ子、松本麻子、石川由紀
授業形態	ホームルーム単位の講義・演習
教科書	コミュニケーション英語Ⅲ 東京書籍
使用教材等	Prominence English Communication Ⅲ Workbook Standard Cutting Edge Green, 英単語ターゲット1400 Focus on Listening Pre-Advanced Starting Line はじめての大学共通テスト Switch 3~4

科目の目標・内容等

学習目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を更に伸ばし、社会生活において活用できるようにする。
学習における留意点	進学後の学習や研究、その他さまざまな生活の場面で情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を生かせるよう学習を進める。
予習・復習	必須。ただし、一部教材(Focus on Listening Pre-Advanced, Starting Line はじめての大学共通テスト)は復習のみ必須。
評価方法	定期考査、小テスト、提出課題等

年間授業計画

学期	単元・授業内容	学習の重点	評価の観点
1	Lesson 2 Leaving Microsoft to Change the World 人の生き方・人生の進路の選択 Lesson 5 Question Authority! アメリカの子供たちが、権威を疑う理由 Lesson 6 The True Cost of Fast Fashion ファーストファッションの生産国における人権侵害と環境問題 Lesson 7 What Is College For? 大学の存在意義 Lesson 9 Science of Love 恋愛感情の論理的分析	基本的な文法知識を基に、文全体の流れる確にとらえ、文全体のトピックを正しく理解して読み進められる力を養うように指導する。 Lesson 2:人の生き方・人生の進路の選択に関心を持ち、自分の進路について考察する。 Lesson 5:権威に対するアメリカの子供たちの考えと日本人の態度や対応の違いについて考察する。 Lesson 6:ファーストファッションの背景にある生産国の人権侵害と環境問題について考える。 Lesson 7:大学の存在意義と大学教育の望ましい姿について考える。 Lesson 9:恋愛感情を論理的に分析し、恋愛感情に係る脳の働きについて理解を深める。	①コミュニケーションへの関心・意欲・態度 コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。 ②外国語表現の能力 英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えようとしている。 ③外国語理解の能力 英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。 ④言語や文化についての知識・理解 英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。
2	Lesson 11 The Robots Are Coming - Aren't They? 人型ロボットの可能性やコンピュータの現在 Lesson 13 Technology as Trash 電気電子機器の廃棄問題とその改善方法 Lesson 14 The Flight from Conversation インターネット通信と人が直接対話することの違いと会話の重要性	500ワーズ以上の長文において、ディスコースマーカ―や言い換えの表現に注意しながら、パラグラフの構成に焦点を当てて読み、筆者の主張を素早く的確にとらえられるように指導する。 Lesson 11:人型ロボットとコンピュータについての技術面と経済面の可能性と問題点について考察する。 Lesson 13:電気電子機器の廃棄にまつわる先進国と発展途上国の環境問題やリサイクル問題について考察する。 Lesson 14:インターネットが人のコミュニケーション活動に与える影響について考察する。 共通テスト対策の学習を加えていく	①コミュニケーションへの関心・意欲・態度 コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。 ②外国語表現の能力 英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えようとしている。 ③外国語理解の能力 英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。 ④言語や文化についての知識・理解 英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。
3	Lesson 15 Bring New Light on Traditional Assumptions 独創的な発想を用いて難問を解決することの意味	最終的に1000ワーズ以上の長文を読みこなす力を育てる。 Lesson 15:独創的な発想を生み出すことの重要性と難題に積極的に挑む姿勢の重要性について考察する。 共通テスト向けの実践的な指導を強化する。	①コミュニケーションへの関心・意欲・態度 コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。 ②外国語表現の能力 英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えようとしている。 ③外国語理解の能力 英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。 ④言語や文化についての知識・理解 英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。

校内科目名	学習指導要領の科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
英語表現Ⅱ	英語表現Ⅱ	3	A B C D E F	2	必履修	70 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	加藤聡生 渡辺敬彰 渡邊ひかり
授業形態	講義、演習等
教科書	be English Expression II
使用教材等	Grammar Collection Select Version, いいずな書店 Aviator 600 ランダム問題集, いいずな書店 Scramble 4th Edition, 旺文社 New Edition Mileage Reader 5, いいずな書店

科目の目標・内容等

学習目標	英文法・語法を体系的に理解、演習し、大学入試レベルの英語力を身に付ける。
学習における留意点	正解にたどり着く着眼点を見抜き、正しい道筋を選択できるように学習を進める。
予習・復習	文法・語法問題集と、一問一答集をリンクさせながら広範な知識を効率的に学ぶ。
評価方法	小テスト及び定期考査。

年間授業計画

学期	単元・授業内容	学習の重点	評価の観点
1	動詞の語法 名詞・代名詞の語法 形容詞の語法 副詞の語法 前置詞 主語と述語動詞の一致 疑問文 否定・倒置・省略・強調 比較 関係詞 接続詞	設問に取り組む際の着眼点を自分の力で見出し、正解に至るまでの道筋を立てられるようになること。また、動詞と特定の前置詞の組み合わせ、動詞が取り得る特定の文型、似た意味の動詞の使い分け、ある動詞の固有の使い方をマスターする。その他、それぞれの語の使用法を身に付ける。	①設問に取り組む着眼点や正解に至る道筋を理解している。 ②語が個別に取り得る様々な形の体系を理解している。 ③イディオムや会話表現について意欲的に練習し、体得しようとしている。 ④獲得した知識を展開し、入試問題を解く力にまで高めている。
2	時制 受動態 助動詞 仮定法 不定詞 動名詞 分詞	1学期に学習したさまざまな語の使用法を理解したうえで、英文の骨格を決定するルールである文法をさらにアウトプットできるようにする。大学入試レベルの、細かな語法に焦点があてられた設問に対しても、対応できる力の獲得を目指す。	①設問に取り組む着眼点や正解に至る道筋を理解している。 ②語が個別に取り得る様々な形の体系を理解している。 ③イディオムや会話表現について意欲的に練習し、体得しようとしている。 ④獲得した知識を展開し、入試問題を解く力にまで高めている。
3	総合演習 入試問題対策演習	ここまで学習した文法・語法・会話表現・イディオムについての様々な問題がランダムに出題されても対応できる、大学受験レベルの英語力を身に付ける。	①設問に取り組む着眼点や正解に至る道筋を理解している。 ②語が個別に取り得る様々な形の体系を理解している。 ③イディオムや会話表現について意欲的に練習し、体得しようとしている。 ④獲得した知識を展開し、入試問題を解く力にまで高めている。

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。

校内科目名	学習指導要領の科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
Xコミュニケーション英語Ⅱ Ⅱ Ⅲ系	コミュニケーション英語Ⅱ	3	A B C D	2	必履修	70 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	石川由紀
授業形態	講義・演習等
教科書	PROMINENCE English CommunicationⅡ，東京書籍
使用教材等	入試長文 Change the World [Approach]，いっずな書店 入試長文 Change the World [Standard]，いっずな書店

科目の目標・内容等

学習目標	「英語を正しく読む力」を身に付け、大学入試での長文への対応力を習得する。
学習における留意点	語彙の知識、それらを正しく使うための語法や文法、構文の理解が前提となる。
予習・復習	予習としては、新たな語彙を調べ、既習の文法事項や構文の知識を用いて、長文の内容を理解する。復習としては、授業の中で読み解いた長文の論理展開や筆者の主張を再度読み直し、文全体の構成をつかむ。
評価方法	定期考査

年間授業計画

学期	単元・授業内容	学習の重点	評価の観点
1	[Approach]UNIT 01 [Approach]UNIT 02 [Approach]UNIT 04 [Approach]UNIT 05 [Approach]UNIT 10 [Approach]UNIT 13 [Approach]UNIT 14 [Approach]UNIT 15 [Approach]UNIT 16 [Approach]UNIT 17 [Approach]UNIT 18 ● 授業で扱えなかったUnitは解答を渡して自習	語彙の知識、それらを正しく使うための語法や文法、構文の理解を前提として、長文の中の論理を正確に読み解き、筆者が述べようとしていることを正しく理解する。論説、物語、そして随筆においても、個々の英文や表現が、英文全体の中でどのような論理的役割を担っているかを考える習慣を身に付ける。	①長文を構成する様々な語彙、文法、語法を理解し、身に付けようとしている。 ②論理関係を示す表現を理解している。 ③論理的思考力を養い、筆者が述べようとしていることを正しく理解しようとしている。
2	[Standard]UNIT 02 [Standard]UNIT 03 [Standard]UNIT 05 [Standard]UNIT 06 [Standard]UNIT 08 [Standard]UNIT 11 [Standard]UNIT 12 [Standard]UNIT 14 [Standard]UNIT 15 [Standard]UNIT 16 ● 授業で扱えなかったUnitは解答を渡して自習	素早く正確に、長文の中の論理展開を理解する力を身に付けるとともに、筆者の主張を正確に理解する。論説、物語、そして随筆においても、個々の英文や表現が、英文全体の中でどのような論理的役割を担っているかを考える習慣を身に付けるだけでなく、時には入試問題の原典にあたることで、本番での問われ方と解法を学んでいく。	①長文を構成する様々な語彙、文法、語法を理解し、身に付けようとしている。 ②論理関係を示す表現を理解している。 ③論理的思考力を養い、筆者が述べようとしていることを正しく理解しようとしている。
3	大学入学共通テスト対策 国公立・私大入試対策	日頃から、新聞やインターネットなどを活用して最新の話題に触れ、幅広い知識や情報を得ようつとめるとともに、実践的な入試問題に取り組むことで、ここまで培った長文読解力にさらなる磨きをかける。	①長文を構成する様々な語彙、文法、語法を理解し、身に付けようとしている。 ②論理関係を示す表現を理解している。 ③論理的思考力を養い、筆者が述べようとしていることを正しく理解しようとしている。

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。

校内科目名	学習指導要領の科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
Xコミュニケーション英語Ⅱ	コミュニケーション英語Ⅱ	3	A B C D E F	2	必履修	70 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	遠藤浩司、渡邊ひかり、平松るみ子
授業形態	講義・演習等
教科書	PROMINENCE English Communication II , 東京書籍
使用教材等	入試長文 Change the World [Approach] , いいずな書店 入試長文 Change the World [Standard] , いいずな書店

科目の目標・内容等

学習目標	「英語を正しく読む力」を身に付け、大学入試での長文への対応力を習得する。
学習における留意点	語彙の知識、それらを正しく使うための語法や文法、構文の理解が前提となる。
予習・復習	予習としては、新たな語彙を調べ、既習の文法事項や構文の知識を用いて、長文の内容を理解する。復習としては、授業の中で読み解いた長文の論理展開や筆者の主張を再度読み直し、文全体の構成をつかむ。
評価方法	定期考査

年間授業計画

学期	単元・授業内容	学習の重点	評価の観点
1	[Approach]UNIT 01 [Approach]UNIT 02 [Approach]UNIT 04 [Approach]UNIT 05 [Approach]UNIT 10 [Approach]UNIT 13 [Approach]UNIT 14 [Approach]UNIT 15 [Approach]UNIT 16 [Approach]UNIT 17 [Approach]UNIT 18 ● 授業で扱えなかったUnitは解答を渡して自習	語彙の知識、それらを正しく使うための語法や文法、構文の理解を前提として、長文の中の論理を正確に読み解き、筆者が述べようとしていることを正しく理解する。論説、物語、そして随筆においても、個々の英文や表現が、英文全体の中でどのような論理的役割を担っているかを考える習慣を身に付ける。	①長文を構成する様々な語彙、文法、語法を理解し、身に付けようとしている。 ②論理関係を示す表現を理解している。 ③論理的思考力を養い、筆者が述べようとしていることを正しく理解しようとしている。
2	[Standard]UNIT 02 [Standard]UNIT 03 [Standard]UNIT 05 [Standard]UNIT 06 [Standard]UNIT 08 [Standard]UNIT 11 [Standard]UNIT 12 [Standard]UNIT 14 [Standard]UNIT 15 [Standard]UNIT 16 ● 授業で扱えなかったUnitは解答を渡して自習	素早く正確に、長文の中の論理展開を理解する力を身に付けるとともに、筆者の主張を正確に理解する。論説、物語、そして随筆においても、個々の英文や表現が、英文全体の中でどのような論理的役割を担っているかを考える習慣を身に付けるだけでなく、時には入試問題の原典にあたることで、本番での問われ方と解法を学んでいく。	①長文を構成する様々な語彙、文法、語法を理解し、身に付けようとしている。 ②論理関係を示す表現を理解している。 ③論理的思考力を養い、筆者が述べようとしていることを正しく理解しようとしている。
3	大学入学共通テスト対策 国公立・私大入試対策	日頃から、新聞やインターネットなどを活用して最新の話題に触れ、幅広い知識や情報を得ようつとめるとともに、実践的な入試問題に取り組むことで、ここまで培った長文読解力にさらなる磨きをかける。	①長文を構成する様々な語彙、文法、語法を理解し、身に付けようとしている。 ②論理関係を示す表現を理解している。 ③論理的思考力を養い、筆者が述べようとしていることを正しく理解しようとしている。

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。